

警報が鳴ったときは

■ 火災のとき

- 大声で周りに火災を知らせ、119番通報をしましょう。
- 可能なら消火を行ってください。
- 消火が難しそうな場合は、速やかに避難して下さい。

■ 火災ではないとき

火災以外の湯気や煙などを感知して警報が鳴った時は、警報音停止ボタンを押すあるいはひもがついているタイプのものはひもを引くと警報音は一定時間（約5分間）停止します。この間に室内の換気をしたり、感知器に入り込んだ煙等を取り除きましょう。



住宅用火災警報器は15分以内に元の監視状態に自動で戻るよう設定されています。

■ 台所でよく鳴る…

煙や湯気が直接かからない場所に警報器の場所を変えるか、熱式の警報器に取り換えることをおすすめします。



煙霧式の殺虫剤を使用するときは

警報器を取り外すか、ビニール袋で覆ってください。その際は、火災予防に万全を期すとともに、殺虫剤使用後は必ず警報器を元の状態に戻して下さい。



日常的に行うことは

■ お手入れをしましょう（年1回以上）

警報器にホコリが付くと火災を感知しにくくなります。汚れが目立ったら、乾いた布でふき取りましょう。

特に台所に取り付けた警報器は、油や煙などにより汚れが付くことがあります。布に水やせっけん水を浸し、十分絞ってから汚れをふき取ってください。

■ テストをしましょう（月に1回程度）

テストは、ボタンを押したり、ひもがついているタイプのものは、ひもを引いて行えます。詳しくは製品の取扱説明書をご覧ください。



■ 音が鳴らない…

次のことを確認しましょう。

- 電池はきちんとセットされていますか？
- 電池切れではありませんか？

それでもならない場合は、故障が考えられます。取扱説明書をご確認ください。



住宅用消火器を設置しましょう

消火器は私たちにとってもっとも身近な消火器具です。消火器を使用した火災における初期消火の成功率は70パーセントを超えるなど消火器の有効性が証明されています。

住宅火災から大切な財産を守るため、万一の事態に備え、目のつきやすい場所に設置しましょう。

※住宅用消火器には使用期間または使用期限が表示されています

